

平成26年度 第2回 六角川・松浦川学識者懇談会 議事概要

日 時：平成26年10月23日（木） 10:00～12:00

場 所：佐賀県青年会館 2階(201) 中ホール

【出席者】

渡邊委員長、大串委員、古賀委員、重藤委員、野間口委員、山西委員、山本委員

【要旨】 ■：委員、○事務局

1. 松浦川水系河川整備計画の点検について

1) 質疑応答

■ 堤防の緊急点検について、今後の築堤実施箇所と浸透対策必要箇所がリンクしているように見えるが、河川堤防の材質に問題があるのか、または築堤を実施するから点検が必要となったのか。

○ 堤体材料等により評価した結果。

■ 徳須恵川の水質について、見た感じでは悪いように感じたが、上流に負荷源となるものがあるのか。

○ これといった負荷源はないと思われる。陸域の調査についても整備計画の検討時には特に問題は発生していないため、実施していない。BODなど高い値が続くような場合は、必要に応じて流入負荷など調査することもあると考える。

■ 河川管理施設の補修費用は全体でどれくらいで、実施可能な金額なのか。

○ 維持修繕に関する予算はほぼ一定であり、それに見合った修繕計画を立てて実施している。

■ アナグマの個体数が増加しているという説明であったが、きちんとしたデータがあるのか。

○ 専門家からの聞き取りによるものであり、具体的なデータまでは把握していない。

2) 点検結果

■ 松浦川水系河川整備計画については、今後も現計画にて実施することとする。

2. 松浦川直轄河川改修事業の事業再評価について

1) 質疑応答

■ B/Cで計測できない効果については、環境、観光、地域の活性化等の効果も評価すべきであり、是非入れてほしい。

事業によって住民の災害に対する不安が解消されるのであれば、これも整備効果と言えるのではないか。

但し、B/Cで計測できない効果を何でも取り込むと、元々の経済的な評価自体の意味が失われる。

○ 現時点では数値として表すのは難しいが、今後の検討課題として整備局へ伝える。

■ 改修事業にも環境の目標が含まれていて、評価に含めることができるのではないか。

○ 改修事業でも環境への配慮は行っているが、治水分だけをB/Cで評価している。改修事業でも他の便益が算出可能か今後の検討課題と考えている。

2) 事業再評価結果

■ 松浦川直轄河川改修事業については、引き続き事業を継続することを了承する。

3. 松浦川総合水系環境整備事業の事業再評価について

1) 質疑応答

■ 環境整備事業の費用対効果の算出には異論を持っている。

地域の環境に対する思い入れ等は評価に入っているのか。地域の人が整備を望んでいるのであれば、B/Cは1でということでも良いのではないか。

○ 様々な人に対して事業の説明をする必要があるため、全てを説明できているわけではない。このご意見は整備局へ伝える。

■ 環境整備の箇所の選定はどのように行っているか。

○ 整備計画策定時の説明会等における地元住民の意見や自治体からの要望などについて、検討の上実施している。

■ 整備箇所の清掃活動等の維持管理は、定期的に行われているのか。

○ 整備後は、地元自治体が占有しており、自治体や地元住民に維持管理を引き受けてもらい、定期的に行われている。

■ 整備個所の利用状況について、表に示された利用者数だと利用されていない印象を受ける。日頃利用している人もいるはず。

○ 限られたイベント時の利用人数しか把握していないためである。今後は定期的にモニタリングし、次回再評価の際には示したい。

■ 利用者数で評価すべき箇所とそうでない箇所と、評価の仕分けをしても良いと思う。地域にとっての重要性といったような評価が抜けているように思う。

2) 事業再評価結果

■ 松浦川総合水系環境整備事業については、引き続き事業を継続することを了承する。